

## 第5学年体育科学習指導案

日時：平成25年10月30日（水）5校時

場所：仙台市立人来田小学校 校庭

仙台市立人来田小学校 5年1組

指導者 教諭 村田 智朗

### 1 単元名 ティーボール（E ボール運動 ウ ベースボール型）

### 2 単元の目標

- (1) 簡易化されたゲームで、ボールを打つ攻撃や隊形をとった守備によって、攻防ができるようにする。  
(技能)
- (2) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。  
(態度)
- (3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。  
(思考・判断)

### 3 評価基準

#### (1) 内容のまとめりごとの評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
ボール運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組むとともに、ルールを守り助け合って運動をしようとしたり、運動する場や用具の安全に気を配ろうとしたりしている。	ルールを工夫したり、自分のチームの特徴にあった作戦を立てたりしている。	簡易化されたゲームで攻防をするためのボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けている。

#### (2) 単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> <li>・用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>・運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースボール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。</li> <li>・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易化されたゲームで、ボールを打ち返す攻撃や隊形をとった守備をするための動きができている。</li> </ul>

(3) 学習活動に即した評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
<p>①ベースボール型のゲームに興味を持ち、進んで運動に取り組もうとしている。</p> <p>②ルールやマナーを守り、友達と励まし合って練習やゲームをしようとしている。</p> <p>③運動を行う場や用具の安全に気を配り、分担された役割を果たして準備や片付けをしようとしている。</p>	<p>①みんながゲームに楽しめるようにするために、ゲームの行い方やルールを工夫している。</p> <p>②自分のチームに合った作戦を考えゲームに生かそうとしている。</p>	<p>①捕球する相手に向かってオーバーハンドで投げることができる。</p> <p>②止まったボールや易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。</p> <p>③打球方向に移動し、捕球することができる。</p> <p>④塁間を打球の状況に応じてかけぬけたり走塁したりすることができる。</p>

4 指導に当たって

(1) 児童観

本学級は、男子12名、女子8名、計20名である。男子の多くは体を動かすことが大好きで、運動能力も比較的高い。しかし、男子の一部と女子の多くは、進んで運動しようという意識は低い。体育の学習には、ほぼ全員が意欲的に取り組み、運動会の表現やリレーなど積極的に練習し、一生懸命活動する姿が見られた。

グループ作りでは、男女別や親しい友達とグループを作りたがる傾向にはあるが、学習の場合は男女関係なく協力して取り組むことができ、教え合いながら学習する姿が良く見られる。

野球チームに所属している児童は4名いるが、多くの児童は野球に触れる機会は少ない。今までの学習でもベースボール型には慣れ親しんではない。投げる際に出す足が反対であったり、バットの持ち方が逆だったり、遠くに投げることができなかつたりする児童もいる。一方、9月に楽天のソフトボールのコーチが来て、キャッチボールやティーバッティングを行う機会があり、どの子も生き生きと投げたり、打ったりする姿が見られた。運動の楽しさに触れさせながら技能を高めていく必要があると考えた。

(2) 単元観

①一般的特性

ベースボール型ボール運動は、攻撃と守備を交代で行い、チームで協力しながら勝敗を競うことが楽しい運動である。攻撃側は、バット等を使ってボールを打ち、多くの得点を入れるところに楽しさがあり、守備側は打者をアウトにし、得点を入れさせないようにするところに楽しさがある。また、「打つ」「投げる」「捕る」「走る」といった基本的な技能を身につけ、簡単な作戦を生かしてゲームができる運動である。

また、ティーボールでは、打者は止まっているボールを打つため、空振りやファウルはほとんどなく、打球は内野手や外野手方向へ頻繁に飛び、短時間で全員が運動の基本的な動作である「打つ、捕る、投げる、走る」を学習できる。

②児童から見た特性

ベースボール型ボール運動のおもしろさは、「ボールと打者のどちらが早く塁をとれるか」である。打者は、ボールより早く塁についてセーフになることができるかどうか、守りは、ボールを捕ったり塁に投げたりして、打者や走者をアウトにすることができるかどうかの攻防がおもしろい。また、打撃や守備の陣形など、一人一人が役割分担を意識して取り組むことでチームの力を高めることができる。

さらに、一人一人のプレーに意識が集まるため、良さの認め合いがしやすく、一人一人の良さを生かして取り組むことができる運動である。

また、ティーボールは苦手な児童でも打ちやすい状況で運動を楽しめたり、ルールを工夫をすることで、実態に応じて技能を身に付けたり、運動量を確保できたりする運動である。

### (3) 指導観

#### 手立て1：動きを体感できる指導過程と評価計画の工夫

##### ①段階的な指導と評価の一体化

一つ一つの正しい動き方を体感できるように「投げる」「捕る」「打つ」「走塁する」を段階的に身に付けさせる指導計画を立て、同時に一つ一つの技能を評価していく。

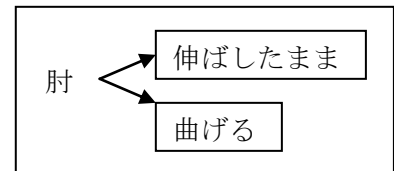
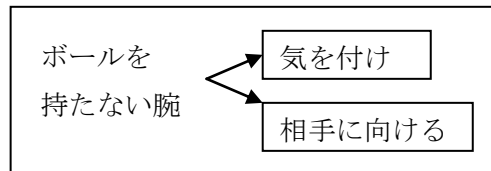
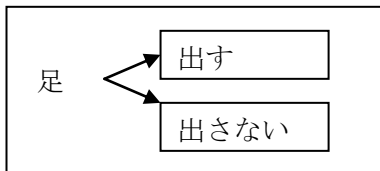
◎正しい動きを身に付けさせるために以下の「つかむ」動きを指導過程に取り入れる。

( ) 内が正しい動き

☆投げる…第2時

(投げる手と反対足を1歩前に踏み出してオーバーハンドでボールを投げる。)

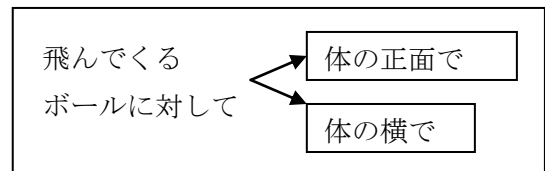
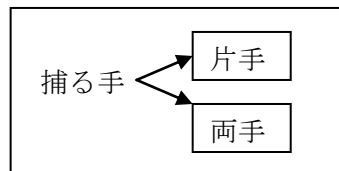
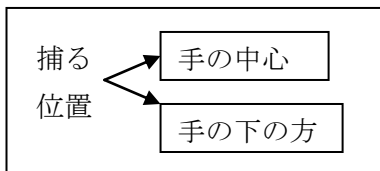
・条件や制限を付けて投げさせ、正しい動き方をつかませる。



☆捕る…第3時

(ボールの正面で手の中心でボールを捕る。)

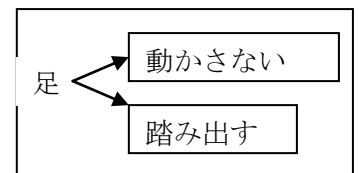
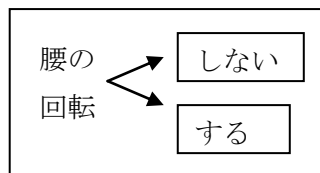
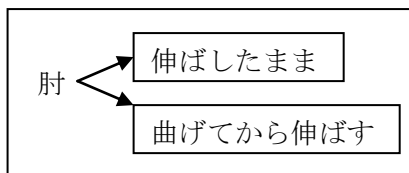
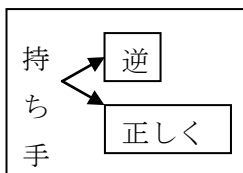
・条件や制限を付けて捕球させ、正しい動き方をつかませる。



☆打つ…第4時、第5時

(足を踏み出し、腰の回転を使ってボールを打つ。)

・条件や制限を付けてバットを振らせ、正しい動き方をつかませる。



・用具を変えて打つ感覚をつかませる。

○短いバットや、ラケットで ○大きなボールやよく飛ぶボールで

☆走塁する…第2時

(ベースごとに止まらずに曲線を描きながら走る。)

・条件を付けて走塁させる。

○直線で、曲線で

## ②本時のねらいに基づいたゲームやルールを取り入れた指導計画の工夫

各技能を体感するため、もしくは体感を生かすことのできるゲームやルールを取り入れ、評価につなげていく。

☆投げる…1列キャッチボールリレー、投げ入れベースボール、集合ティーボール

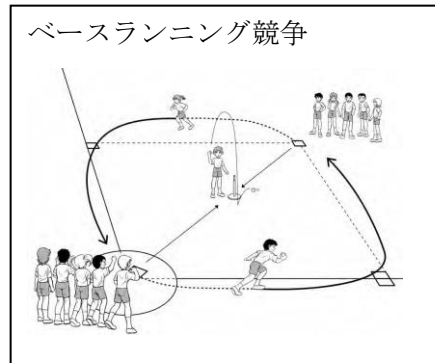
☆捕る…1列キャッチボールリレー、ローテーションゲーム、集合ティーボール

☆打つ…ホームランゲーム、集合ティーボール、

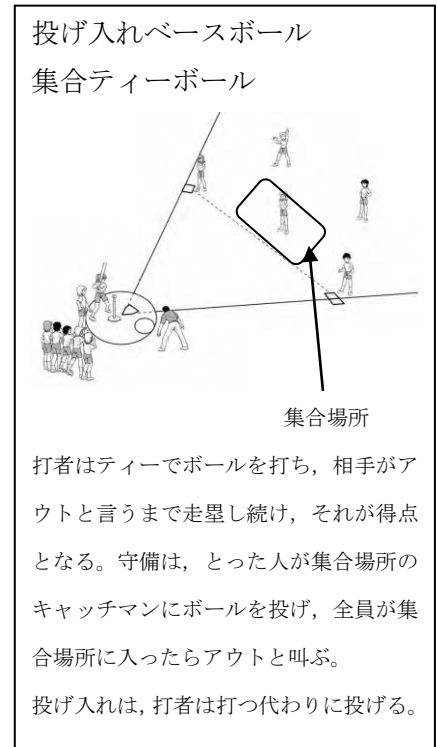
☆走る…集合ティーボール、ベースランニング競争



一列キャッチボール



ベースランニング競争

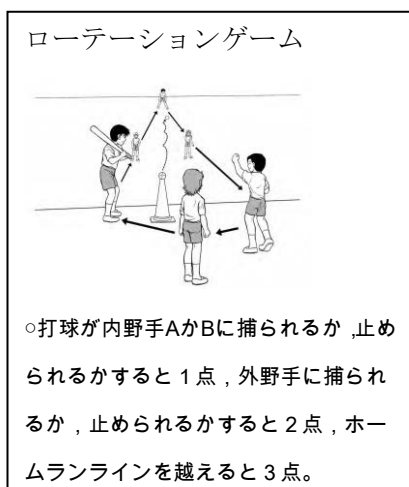


投げ入れベースボール  
集合ティーボール

集合場所

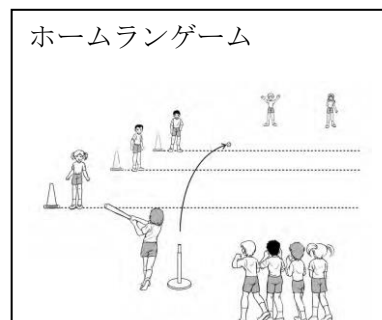
打者はティーでボールを打ち、相手がアウトと言うまで走塁し続け、それが得点となる。守備は、とった人が集合場所のキャッチマンにボールを投げ、全員が集合場所に入ったらアウトと叫ぶ。

投げ入れは、打者は打つ代わりに投げる。



ローテーションゲーム

○打球が内野手AかBに捕られるか、止められるかすると1点、外野手に捕られるか、止められるかすると2点、ホームランラインを越えると3点。



ホームランゲーム

### 手立て2：学習のめあての達成度が分かる学習カードの工夫

毎時間のめあてを明確にし、その時間に身に付けたい技能を児童自身がよく分かるようにしておく。また、その技能のポイントが一目で分かるように学習カードにイラストなどを入れる。

児童同士の関わり合いの中から生まれた動きのポイントやコツ、動きの上達具合などを自己評価できる欄と、次の時間に達成したいことを書く欄を設け、1時間1時間の高まりを感じさせたい。

### 手立て3：焦点化された学び合いになるための工夫

#### ①教え合いが活発になるための工夫

本時の正しい動きのポイントを用いて分かりやすく掲示することで、児童同士の教え合いが活発となると考えた。また、肘、膝、手首、腰などの体の部位に着目し、言葉で表現するように声掛けする。なんとなく見るのではなく、細分化することでお互いにチェックしやすくなるだろう。

#### ②良い動きを広めるための教師の声掛けの工夫

本時の正しい動きのポイントを中心に児童を見取り、正しい動きをしている児童を体の部位がどうなっているという言葉を用いて紹介したり、称賛したりしながらポイントについて確認していく。

#### ③振り返りの時間の設定

指導過程の動きをつかむ活動やゲームの後に振り返りの時間をとる。ここで体の部位に着目させて、動きのコツを発表させたり、実際にやらせたりすることで、本時のめあての達成のための学び合いとなる。

5 指導と評価の計画

第5学年 単元名：ティーボール 領域：ボール運動 配当時間：8時間				
時間	主なねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
1	<p>ティーボールの行い方を知る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習の進め方を知り，学習の見通しを持つ。</li> <li>2 学習の約束事や安全面の確認をする。</li> <li>3 学習カードの使い方を確認する。</li> <li>4 チームを決める。</li> <li>5 振り返りを行う。</li> </ol>	①		
2	<p>正しい投げ方で投げられるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動を行う。</li> <li>2 キャッチボールをする</li> <li>3 ベースランニング競争をする</li> <li>4 投げ入れベースボールをする。</li> <li>5 振り返りを行う。</li> </ol>			①
3	<p>正しい補球の仕方では捕球できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動を行う。</li> <li>2 1列キャッチボールリレーをする。</li> <li>3 ローテーションゲームをする。</li> <li>4 振り返りを行う。</li> </ol>			③
4	<p>正しい打ち方で，ボールを打つことができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動，キャッチボールを行う。</li> <li>2 ホームランゲームをする。</li> <li>3 集合ティーボールをする。</li> <li>4 振り返りを行う。</li> </ol>			②
5	<p>みんなで楽しめるルールを工夫してゲームをする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動や，キャッチボールを行う。</li> <li>2 ホームランゲームをする。</li> <li>3 ゲームの行い方などを話し合っ，ゲームをする。</li> <li>4 振り返りを行う</li> </ol>		①	
6	<p>チームに合った作戦を考えてゲームをする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動，キャッチボールを行う。</li> <li>2 チームに必要な練習を行う。</li> <li>3 ティーボールをする。</li> <li>4 振り返りを行う。</li> </ol>		②	
7	<p>身に付けた技を生かして、学年ティーボール大会をする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 準備運動，キャッチボールを行う。</li> </ol>	②		
8	<ol style="list-style-type: none"> <li>2 チームに必要な練習を行う。</li> <li>3 ティーボールをする。</li> <li>4 振り返りを行う。</li> </ol>	③		④

第6学年 単元名：ソフトボール 領域：ボール運動 配当時間：6時間				
時間	主なねらい・学習活動	学習に即した評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
1	<p>ソフトボールの行い方を知る。</p> <p>1 学習の進め方を知り，学習の見通しを持つ。</p> <p>2 学習の約束事や安全面の確認をする。</p> <p>3 学習カードの使い方を確認する。</p> <p>4 キャッチボールをする。</p> <p>5 振り返りを行う。</p>	①		①
2	<p>ねらった方向に打球を飛ばすことができるようにする</p> <p>1 準備運動，キャッチボールを行う。</p> <p>2 的当てをする。</p> <p>3 的当てベースボールをする。</p> <p>3 振り返りをする。</p>			②
3	<p>みんなで楽しめるルールを工夫してゲームをする。</p> <p>1 準備運動や，キャッチボール、ベースランニングを行う。</p> <p>2 ティーボールをする。</p> <p>3 ゲームの行い方などを話し合っ、ゲームをする。</p> <p>4 振り返りを行う</p>		①	③
4	<p>チームに合った作戦を考えてゲームをする</p> <p>1 準備運動，キャッチボールを行う。</p> <p>2 チームで必要な練習を行う。</p> <p>3 ソフトボールをする。</p> <p>4 振り返りを行う。</p>	②	②	
5	<p>身に付けた技を生かして、学年ティーボール大会をする</p> <p>・ 1 準備運動，キャッチボールを行う。</p>			
6	<p>2 チームで必要な練習を行う。</p> <p>3 ソフトボールをする。</p> <p>4 振り返りを行う。</p>	③		④

5年生ではベースボール型の基本的な動きを見に付けさせるために、動きをつかむ活動を増やしたり、ルールもより単純なゲームを取り入れたりした。6年生では、その経験を生かし、ティーボールからソフトボールに移行する。その中で、ルールを考えたり、チームでの練習を考えたりと思考する活動を中心になるように計画を立てた。

## 6 本時の展開（4/8時間）

### （1）本時の目標

○バッティングのポイントを意識して、ボールを打つことができるようにする。

（技能）

### （2）準備物

- ・新聞バット20本
- ・バット4本
- ・Tボール用ボール24個
- ・バッティングティー2つ
- ・得点板
- ・移動黒板

(3) 学習過程

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
導入 10分	<p>1 準備運動・キャッチボールをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースランニングをする。</li> <li>・1列キャッチボールをチーム毎にする。</li> </ul> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バットを振ったり，ボールを投げたりする際に負担のかかる手首や肩，膝を中心にほぐさせる。</li> </ul> <p>「相手の胸めがけて投げるんだよね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に「2周したら終わり」のリレーをさせる。</li> </ul>
正しい打ち方で打とう。		
展開 15分	<p>3 条件を付けて素振りをする。</p> <p>①肘を伸ばしたまま，肘を曲げたまま 肘を曲げてから伸ばして</p> <p>②その場で足を動かさないまま 少し踏み出して</p> <p>③腕だけでと，腰の回転を使って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッティングのポイントを確認する。</li> </ul>	<p>「どの動きがやりやすいかを感じながら新聞バットで素振りしよう。」</p> <p>「肘を伸ばしたままや曲げたままだと振りづらいね。」</p> <p>「つつ立って振るよりも，足を踏み出した方が振りやすいね。」</p> <p>「体をひねった方が振りやすいね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストを見せたり，実際に振ったりして説明する。</li> </ul> <p>「肘は曲がっている状態から伸ばすんだね。」</p> <p>「前方の足は少踏み出すんだね」</p> <p>「腰を回すんだね」</p>
	<p>4 ホームランゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2チームが打ち，もう2チームは玉拾いをする。</li> </ul>	<p>「打つポイントを意識してやってみよう。」</p> <p>「チームメイトの人の動きも見て，アドバイスをしましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆バッティングのポイントを意識して，ボールを打つことができる。</p> <p>【運動の技能②】(観察)</p> </div>
15分	<p>5 動きの振り返りをし，集合ティーボールの行い方の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手に打つためのコツを発表したり，打ち方をやったりする。</li> </ul>	<p>「上手に打っていた友達や，うまくいったコツについて紹介しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい動きをしていた児童を取り上げ，バッティングのポイントを再度確認する。</li> </ul>

5分	6 集合ティーボールをする。 ・ゲームは2～3回の裏まで行う。	・打つことや守ることが楽しくなるように、ナイスプレーには大きな声で称賛する。
	<p>ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・打者は一巡で攻守交替。</li> <li>・ティーを使って打つ。</li> <li>・打者は打ったら、守備側がアウトと言うまでベースを周り、それが得点となる。 1 塁…1点 2 塁…2点 …… 2 周目の1 塁…4点 ……</li> <li>・打ったボールを捕り、捕ったらその場から集合場所にいるキャッチマンに送球する。集合場所に全員が集まったら「アウト」と言いアウトとなる。</li> <li>・ノーバウンドでボールをキャッチしたらアウト。</li> <li>・打者は打つ前に「いくよ」と言い、守備は「いいよ」と答える。</li> <li>・味方の打者が塁を踏むたびに攻撃側全員が「1点」「2点」…と声を出す。</li> <li>・打ったバットはバットゾーンに入れてから塁に進む。</li> </ul>	
	7 学習の振り返りをする。 ・うまくいったことや、正しい動きをしていた友達を発表し合う。	<p>☆バッティングのポイントを意識して、ボールを打つことができる。</p> <p>【運動の技能②】(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童からの発表だけでなく、正しい動きでやっていたり、アドバイスできたりした児童などについて紹介する。</li> <li>・時間が十分でない場合は学習カードは教室で記入させる。</li> </ul>

(4) 評価

学習活動に即した評価規準	Aと判断する学びの姿	Cの児童への手立て
正しい打ち方のポイントを意識して、ボールを打つことができる。	正しい打ち方のポイントを意識して、常に正確にボールをミートして、ボールを打つことができる。	正しい動きができていない体の部位を教え、素振りをさせて、フォームを修正させる。

(5) 場の構成

